

2012年8月29日

各 位

会社名 ダイキン工業株式会社
代表者名 取締役社長 十河政則
コード番号 6367
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
常務執行役員 岡野進
TEL (06)-6373-4320

米国住宅用空調大手 Goodman 社を総額 37 億ドルで買収

空調グローバルリーディングカンパニーとしての地位盤石に

ダイキン工業株式会社（本社：大阪市、代表取締役会長兼 CEO：井上礼之）は、本日開催の取締役会において、米国の住宅用ユニタリエアコン（全館空調機）のリーディングメーカーである Goodman 社（Goodman Global Group, Inc.、本社：米国テキサス州ヒューストン市、代表：David L. Swift, President and CEO）の買収を決議し、本日 Goodman 社およびその主要株主である H&F 社（Hellman & Friedman LLC、本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ市、代表：Brian M. Powers, Chairman）と買収契約を締結しました。

本件の買収価額は総額 37 億ドル（1ドル＝80円換算で 2,960 億円）です。当社は買収資金の全額を手元資金の一部と政策金融、普通社債、銀行借入れでまかない、増資は行いません。

Goodman 社は、北米住宅用空調分野でトップシェアの空調メーカーであり、最大規模の販売網を持つ徹底的に合理化された流通および販売体制により高い収益力を誇っています。製品では、北米で主流であるダクト式の住宅用ユニタリ空調機・燃焼暖房機器や業務用空調機に強みを持ち、約 600 万台の住宅用空調市場や、業務用空調市場で高い成長性を維持しています。

一方、当社は、ルームエアコン、パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなどのダクトレス空調や、大型のアプライド空調など幅広い商品群を持つ総合空調メーカーです。環境対応・省エネや快適性を追求する独自の技術力を活かし、高品質、高付加価値の空調機の開発を得意としています。また、競合他社に先駆けグローバルに進出しており、欧州、中国、アジア、北米や新興国で広く事業を展開しています。

1. 当社の世界戦略と本件買収の意義

ダイキングループは、これまで米国空調市場で、ダクトレス空調のルームエアコン、ビル用マルチエアコンと、大型のアプライド空調を中心に事業展開を行ってきました。今回の買収によりダクト式の住宅用空調・業務用空調市場に本格参入し、世界最大の空調市場において、ダクトとダクトレス空調に燃焼・ヒートポンプ暖房をあわせ持つ、ずば抜けた品揃えで一気に売上を拡大します。これにより、グローバル空調市場においてもリーディングカンパニーとしての地位を盤石なものとする事ができます。

特に近年、環境・省エネの取り組みが加速している米国の住宅用空調・業務用空調市場に対して、Goodman社の空調機と当社の環境技術を融合した環境先進商品を投入し、新たな潮流を起こすことで環境貢献と事業拡大の両立を図ります。

さらに、Goodman社の持つローコスト経営ノウハウを、新興国・ボリュウムゾーンの市場に展開するとともに、先進国を含めたグループ全体の収益体質の改革に取り組むことで、一層の競争力向上を図ります。

本件買収の意義は、大きく以下の3点に集約できます。

(1) 住宅から大型ビル空調まで、ダクトとダクトレス、燃焼暖房を併せ持つ総合空調メーカーとして、世界最大の米空調市場でリーディングカンパニーの座を狙えるポジションを獲得

世界最大の空調機器市場である米国（160億ドル^{※1}）のなかで大部分を占める住宅用空調市場（80億ドル^{※2}）・中規模ビル向け業務用（以下業務用）空調市場（20億ドル^{※3}）において、メジャープレーヤーとしての地位を築き、当社は「空調グローバルNo.1」を確固たるものとします。

今回、米国住宅用空調市場において大きな存在感を持つGoodman社を買収することで、本格的に米国住宅用空調・業務用空調市場での事業展開を加速します。これにより、当社子会社の米国マッケイ社（主に業務用大型空調事業を展開）と、ダクトレス空調販売会社ダイキンエアコンディショニングアメリカズ社（以下、DACA社）を合わせ、住宅から大型ビル空調まで、ずば抜けた品揃えを持つ総合空調メーカーとして、北米空調市場でリーディングカンパニーの地位をめざします。

（※1）1ドル=100円換算で約1兆6千億円：空調機器のみ。コントロール、サービス等は含まず。

（※2）1ドル=100円換算で約8千億円

（※3）1ドル=100円換算で約2千億円

(2) 北米空調市場で環境貢献と事業拡大の両立を図る

当社の事業である空調・給湯・暖房などは、住宅の全エネルギー消費の約半分を占めます。この分野において、当社の省エネ技術や遠隔監視などの節電関連技術は、世界最先端の技術であり、北米空調市場の環境貢献に大きく寄与することが可能です。

当社はこれらの先進技術を活用して、北米住宅用空調・業務用空調市場に新たな潮流を起こします。例えば、ノンインバータ主流のダクト式空調市場にインバータ技術を搭載した高効率かつ低コストの省エネ機を導入し、さらにGoodman社の強力な販売網に、省エネ性に優れた最先端のダクトレス空調を展開することなどで、北米環境市場を創造します。

現在、世界の三分の一の地域で暖房が必要とされており、そのうち6割が燃焼暖房を使用しています。米国の住宅用暖房市場は35億ドル^{※4}といわれていますが、その約9割が“ガスファーネス”と呼ばれる方式が採用されています。これに当社のヒートポンプ技術を加えた省エネ効果の高い商品を投入し、Goodman社の強力な販売網を活用することにより、暖房事業の拡大を図ります。さらには、当社が2008年に買収したドイツRotex社の燃焼暖房技術との融合により、“ガスファーネス”の高効率化を推進します。

（※4）1ドル=100円換算で約3千5百億円

(3) Goodman 社の強みを全世界に展開し、ダイキングループ全体の収益体質の改革に挑戦

Goodman 社は、全米 192 箇所、自前卸を含む 900 箇所以上の販売拠点と、傘下に 6 万店のディーラーを抱える業界最大規模の販売網を持ちます。

また部品調達から商品開発・製造・物流まで、詳細な顧客・販売情報データベースにもとづくサプライチェーンマネジメント、さらに部品共通化・業務効率化や、徹底した部品内作化で低コストでの生産を行うなど、卓越したコスト競争力を有しています。

一方、Goodman 社のダクト型商品や燃焼暖房機器については、当社の 90 カ国以上にまたがる海外販売網を通じて拡販できると考えています。

加えて、Goodman 社がこれまで米国内で培ってきた独自の経営ノウハウを、当社はインド、インドネシア、ブラジルなど、当社の新興国・ボリュームゾーン市場攻略に展開します。さらに、Goodman 社の高収益な企業体質を、新興国のみならず先進国を含めた全世界で展開し、当社グループ全体の収益力を強化します。

2. 3 年間で約 240 億円のシナジー効果を見込む

本件買収の完了後、両社間でシナジー効果の創出を早期に実現することを目的とした具体的な実行計画（アクションプラン）を策定し、当社と Goodman 社の補完関係を最大限に生かして事業の拡大を図っていきます。

現時点で定量化できる範囲での初期的試算では、買収完了後の 3 年間で累計約 240 億円（営業利益ベース）のシナジー効果を見込んでいます（10 年間では累計約 2500 億円を見込む）。

また、本買収により当社グループ全体の物量が拡大することで、今後当社圧縮機事業の拡大・再編も検討し、さらなるシナジーの創出を追求します。

さらに、世界の空調市場におけるダクトとダクトレスの両方式に対する技術開発、Goodman 社を基点とした中南米・中近東への進出の加速など、より大きなシナジーの創出をめざしたテーマの具体化も急ピッチで進めてまいります。

3. 本件買収の概要

本買収は、Goodman 社の株式の 100%を同社の主要株主である PE（プライベート・エクイティ）ファンドの H&F 社等から買い取るものであり、本件買収金額総額は 37 億ドルになります。（Goodman 社の借入の借換分を含む）

本買収の実行には関係当事国の独占禁止法に基づく条件の充足、その他一般的な前提条件の充足が必要となります。今後必要な手続きを経た上で、2012 年度第 3 四半期中に買収完了する予定です。

4. 財務体質の改善（2015 年には、買収以前の財務体質レベルに）

本買収により、当社の有利子負債比率は一時的に上昇する見込みですが、Goodman 社の利益水準が高いこともあり、今後当社の戦略経営計画「Fusion 15」で掲げた売上・利益成長の確実な達成、ならびに Goodman 社のさらなる業績拡大と早期のシナジーの発現により 2015 年には買収以前の財務体質レベルまでの改善を図ります。

本件買収の投資回収期間は約 8 年を想定しています（EBITDA による回収期間は約 5 年）。

今後のシナジーの具体化と拡大により、さらなる収益性の向上、回収期間の短縮をめざします。

5. 買収資金の調達

買収資金は手元資金の一部と、政策金融、普通社債、銀行借入の組み合わせにより、低利でかつ安定的な長期資金の調達を図り、増資は行いません。

政策金融は、財務省が2011年8月24日に発表した「円高対応緊急パッケージ」の中で創設が示されていた国際協力銀行の「円高対応緊急ファシリティ」を、民間銀行を通して最大限活用することを予定しています。

6. 買収後の事業運営方針（既存事業体との合併や分割は当面行わない）

当社はこれまで数々のM&Aを行い、事業基盤を強固なものにしてきました。買収の大きなメリットは「時間」を買うことに加えて、「人材」を獲得し生かすことにあり、買収後の事業運営にあたっては、お互いの企業文化を認め合い相手の求めるものをトランスファーすることを基本としてきました。

Goodman社は優秀なる経営陣の下、低コスト重視の経営体制で、米国住宅用空調市場での勝ち組として事業を拡大しています。その特徴を生かすべく、まとまった事業運営主体として経営を継続し、既存事業体との合併や分割は当面行わず、Goodman社の独立性を維持する方針です。

そのためにGoodman社を熟知する現経営陣に継続して経営にあたってもらい、両社のシナジーを最大化することに努めます。また北米だけではなく、グローバルでの事業展開も求めてまいります。

今後のGoodman社とのシナジー創出の過程で、例えばダクトレス商品の現地生産も検討しており、現在のGoodman社工場の生産規模を拡大することで、Goodman社の地元テキサス州やテネシー州の雇用創出にも貢献していきたいと考えています。

7. Goodman Global Group, Inc. の概要

- (1) 商号： Goodman Global Group, Inc.
- (2) 代表者： David L. Swift, President and CEO
- (3) 所在地： アメリカ合衆国テキサス州
- (4) 設立年： 1975年
- (5) 主な事業内容： 空調機の開発・製造・販売
- (6) 決算期： 12月
- (7) 従業員数： 4,765人（2011年12月時点）
- (8) 主な事業所： アメリカ合衆国テキサス州、テネシー州
- (9) 資本の額： 659百万ドル（2011年12月時点）
- (10) 発行済株式数： 125,065,061（2011年12月31日時点）
- (11) 総資産： 2,896百万ドル（2011年12月時点）
- (12) 最近事業年度における業績の動向

(単位：百万ドル)	2009年12月期	2010年12月期	2011年12月期
売上高	1,851	1,943	2,049

8. Hellman & Friedman LLCの概要

- (1) 商号： Hellman & Friedman LLC
- (2) 代表者： Brian M. Powers, Chairman
- (3) 所在地： アメリカ合衆国カリフォルニア州
- (4) 設立年： 1984年
- (5) 主な事業内容： プライベート・エクイティ・ファンド運営業務
- (6) 当社とHellman & Friedman LLCとの関係：
当社と当該会社との間には、人的関係、資本関係、取引関係など特筆すべき関係はありません。

【参考：ダイキン工業株式会社について】

- (1) 所在地： 大阪市北区中崎西2丁目4番12号梅田センタービル
- (2) 設立： 1934年2月11日
- (3) 資本金： 85,032百万円
- (4) 連結売上高： 1,218,700百万円
- (5) 連結総資産： 1,160,564百万円
- (6) 代表者： 取締役会長 兼 CEO 井上礼之
取締役社長 兼 COO 十河政則
- (7) 決算期： 3月
- (8) 連結従業員： 44,110名（2012年3月末時点）
- (9) 業績の推移

(単位：百万円)	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
連結売上高	1,023,964	1,160,330	1,218,700
連結営業利益	44,037	75,455	81,192
連結当期純利益	19,390	19,872	41,171

(注) 本文書は、一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、当社の有価証券報告書に含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。

本文書は多くのリスクおよび不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の業績又は当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示又は黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。

以上